

工場概要



日本産業規格適合認証工場
高強度コンクリート国土交通大臣認定工場

栃南建材株式会社

TOCHINAN

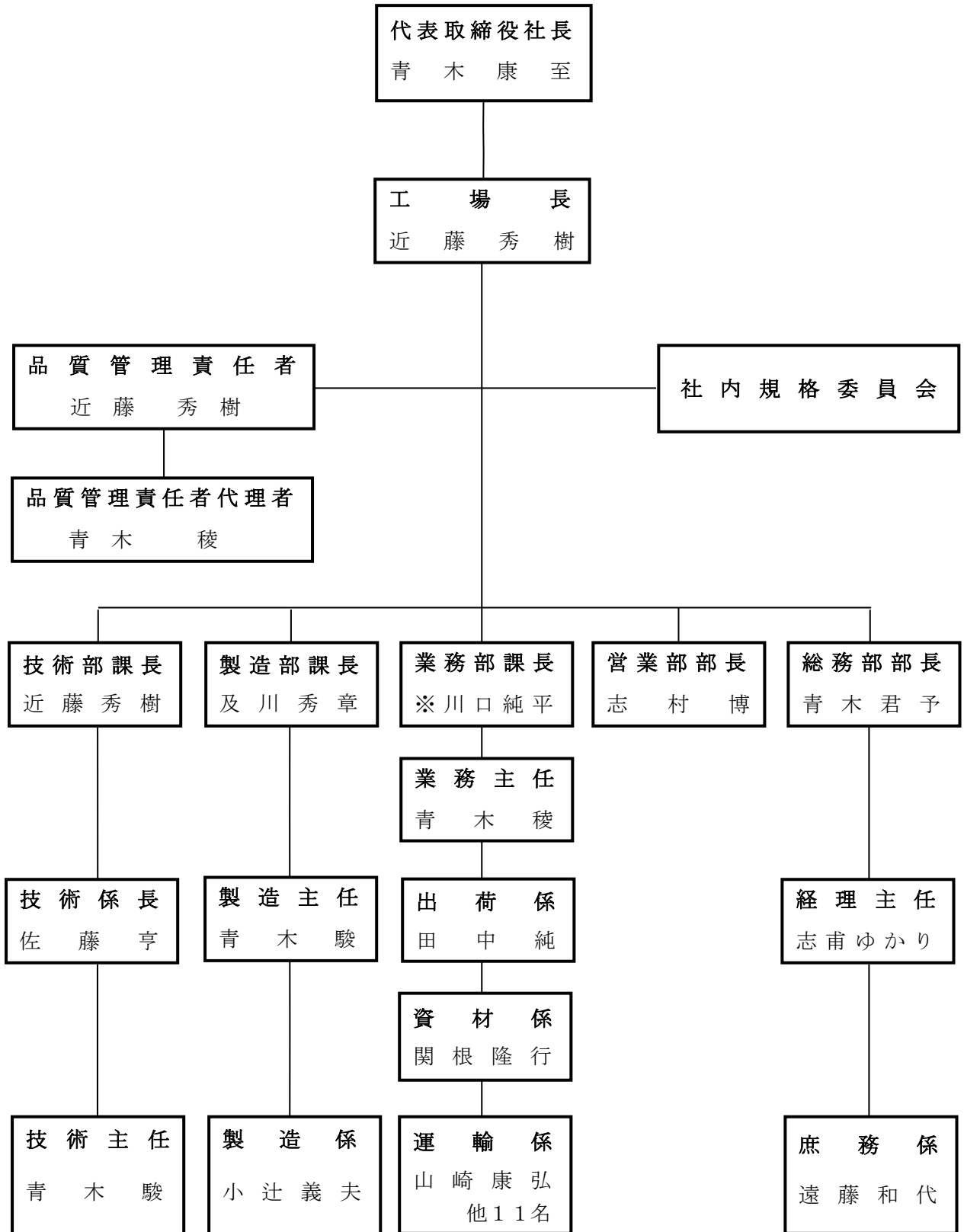
会社概要

社名	栃南建材株式会社		
本社	〒352-0012 埼玉県新座市畑中2丁目14番地38号		
工場	〒352-0016 埼玉県新座市馬場2丁目6番地2号		
電話	048-478-6970 (出荷専用)	048-478-6971 (予定専用)	
	048-478-6972 (経理専用)	048-478-6973 (総務専用)	
	048-478-6934 (技術専用)		
ファックス	048-481-8584 (出荷/予定専用)	048-478-1961 (総務/技術専用)	
ホームページ	http://www.tochinan.info/		
日本工業規格適合 認証番号	JIS A 5308 : レディーミクストコンクリート 普通コンクリート TC 03 06 086 認証日 : 2007年1月29日		
国土交通大臣 認定番号	高強度コンクリート 設計基準強度 = 39 ~ 60 N/mm ² 認定番号 : MCON-2836	(普通ポルトランドセメント/中庸熱ポルトランドセメント) 呼び強度 = 42 ~ 70 N/mm ² 認定日 : 平成24年12月11日	認定番号 : MCON-4171 認定日 : 平成31年4月11日
加入協同組合	埼玉中央生コン協同組合		
加入工業組合	埼玉県生コンクリート工業組合		
資本金	50,000,000 円		
設立年月日	昭和46年4月16日		
車両台数	※大型車自家用(10t) 7台	※大型車常駐庸車(10t) 8台	
	※中型車自家用(8t) 5台	※中型車常駐庸車(8t) 6台	
	※小型車自家用(4t) 4台	※小型車常駐庸車(3t) 2台	
	※小型車自家用(3t) 2台	タイヤローダー車 1台	
	技術専用車 2台	自家乗用車 3台	
	※ ホッパーカバー/Sグリット/GPS 運行管理システム/移動無線機 洗車水受け/ミキサー車(ドラム) 断熱塗装/逆転防止ブザー 車両寸法についてはお問い合わせ下さい。		
庸車車両	(有) シンメイ (有) アシス (株) assis (株) 太一	その他	
関連会社	株式会社 リョウシュン Tel 048-478-5421 Fax 048-478-1961		

目 次

1. 会社組織図	P 1
2. 主要資材の銘柄・種類・産地	P 2
3. 主要製造設備及び検査設備	P 3～5
4. 製造工程中における品質管理の概要	P 6
5. レディーミクストコンクリートの品質特性の概要	P 7
6. 製造工程概要図	P 8
7. 工場位置図	P 9
8. 工場配置図	P 10
9. 有資格者名簿	P 11
10. コンクリート技士登録証	P 12～13
11. 日本工業規格適合認証書	P 14
12. 高強度コンクリート国土交通大臣認定書	P 15
13. 高強度コンクリート国土交通大臣認定書	P 16

1. 会社組織図



※ 出荷係兼任

2. 主要資材の銘柄・種類・産地

各材料名	種類又は区分	銘柄・産地・生産者・製造業者	出荷基地
セメント	普通ポルトランドセメント (N) 早強ポルトランドセメント (H) 中庸熟ポルトランドセメント (M) 高炉セメント (B種) (BB)	UBE 三菱セメント (株)	横瀬工場 (N.H.BB) 鶴見 S S (N.H.M.BB) 品川 S S (N.M) 妻沼 S S (N.H)
骨 材	砕砂 (粗砂) 珪岩	(株) 藤坂 本社工場	(株) 藤坂
	砕砂 (細砂) 珪岩	栃木県佐野市中町	本社工場
	砕石 (2005) 珪岩		
	砕砂 (粗砂) 硬質砂岩	(株) 藤坂 音坂工場	(株) 藤坂
	砕石 (2005) 硬質砂岩	栃木県佐野市菑川町	音坂工場
	砕砂 (粗砂) 硬質砂岩	(株) 上武	(株) 上武
	砕石 (2005) 硬質砂岩	埼玉県秩父郡皆野町	
	砕石 (2005) 硬質砂岩	成木開発 (株) 本社工場	成木開発 (株)
		東京都青梅市成木	本社工場
砂 (細砂) 山砂	(株) 秀栄	(株) 秀栄	
	千葉県成田市所地先		
	砕石 (2005) 石灰石	(株) 田中浚渫工業	(株) 田中浚渫工業
		千葉県君津市山高原	
	砕石 (2005) 石灰石	栗野興産 (株)	栗野興産 (株)
		栃木石灰砕石工場	栃木石灰砕石工場
		栃木県栃木市鍋山町	
水	上水道水以外の水 (地下水) 回収水 (上澄水)	自社工場敷地内	自社工場敷地内
化 学 混和剤	AE 剤 I 種	マスターエア 202 ポゾリスソリューションズ (株)	ポゾリス ソリューションズ (株)
	AE 減水剤 標準形 I 種 遅延形 I 種	マスターポリト 15 S・15 SR ポゾリスソリューションズ (株)	ポゾリス ソリューションズ (株)
		フローリック SV 10・RV 10 (株) フローリック	(株) フローリック
		シーカメント J・JR シーカ・ジャパン (株)	シーカ・ジャパン (株)
	高性能 AE 減水剤 標準形 I 種 遅延形 I 種	マスターグレウム SP 8 SV・SP 8 RV ポゾリスソリューションズ (株)	ポゾリス ソリューションズ (株)
		フローリック SF 500 S・SF 500 R (株) フローリック	(株) フローリック
		チューボール HP-11・HP-11 R 竹本油脂 (株)	竹本油脂 (株)
		シーカメント 1100 NT・1100 NTR シーカ・ジャパン (株)	シーカ・ジャパン (株)

3. 主要製造設備及び検査設備

主要製造設備

工程名	製造設備名	公称能力	台数	備考	
原 材 料 貯 蔵 設 備	セメントサイロ No.1サイロ (C1・C3) 200t二分割	130t・70t 130t・70t	1 1	C1 (N.M) 130t・C3 (BB) 70t C2 (N.M) 130t・C4 (H) 70t	
	セメント貯蔵ビン C1 (N. M) C2 (N. M) C3 (BB) C4 (H)	10 m ³ 8 m ³ 7 m ³ 7 m ³	1 1 1 1	C5 (混和材専用) 4 m ³ ×1 ※ 中庸熟使用の場合は、入れ替える。	
	骨材貯蔵サイロ 角型七区画 (鋼板製)	S1 (粗砂) S2 (粗砂) S3 (粗砂) S4 (細砂) G1 (碎石) G2 (碎石) G3 (碎石)	176 m ³ 176 m ³ 149 m ³ 230 m ³ 176 m ³ 176 m ³ 230 m ³	1 1 1 1 1 1 1	
	骨材貯蔵ビン 七区画	S1 (粗砂) S2 (粗砂) S3 (細砂) G1 (碎石) G2 (碎石) G3 (碎石) G4 (碎石)	24 m ³ 14 m ³ 13 m ³ 24 m ³ 21 m ³ 23 m ³ 20 m ³	1 1 1 1 1 1 1	
	混和剤タンク	ADタンク ADタンク ADタンク ADタンク ADタンク	4000 リットル 4000 リットル 4000 リットル 8000 リットル 8000 リットル	1 1 2 1 1	AE 剤 AE 減水剤 高性能 AE 減水剤 AE 減水剤 高性能 AE 減水剤
	水貯蔵層	地下水 回収水 (上澄水) スラッジタンク	100 t 65 t 30 t	1 1 1	地下コンクリート製 地下コンクリート製 鋼板製
	水貯蔵ビン	W1 予備水 W2 上澄水 W3 地下水	0.2 m ³ 0.2 m ³ 2.0 m ³	1 1 1	
	原 材 料 輸 送 設 備	セメント空気圧送ルーツブロワ	80 t	1	クマクラ工業(株)製
		受入グラウンドホッパー	10 m ³	1	雨水及び粉塵対策建屋付
		受入垂直フレックスBC	350 t	1	
		受入シャトルBC (No.1)	350 t	1	
		受入シャトルBC (No.2)	350 t	1	
		受入円筒傾斜BC	350 t	1	
		受入傾斜BC	350 t	1	
		供給引出しBC (No.1)	450 t	1	
		供給引出しBC (No.2)	450 t	1	
		供給傾斜BC (No.1)	450 t	1	
		供給傾斜BC (No.2)	450 t	1	
	供給垂直フレックスBC	450 t	1		

主要製造設備

工程名	製造設備名		最小目盛	最大目盛	使用範囲	台数	
計 量 設 備	セメント	C1・C2 C3・C4	1.0kg	1700kg	150kg～1700kg	1	
	細骨材	S1・S2・S3	2.0kg	3600kg	200kg～3600kg	1	
	粗骨材	G1・G2	2.0kg	3600kg	200kg～3600kg	1	
		G3・G4	2.0kg	3600kg	200kg～3600kg	1	
	水	W1・W2・W3	0.5kg	800kg	75kg～800kg	1	
	※ 混 和 剤	単槽	AD1・AD2 AD3・AD4	0.02 kg	30.0kg	2kg～30kg	1
			AD5・AD6・AD7	0.02 kg	15.0kg		
		二分	AD8・AD9	0.02 kg	15.0kg		

※ AD1=空気量調整剤(4000ℓ) AD5=A E減水剤(8000ℓ) AD6=A E減水剤(4000ℓ)
AD7=高性能AE減水剤(4000ℓ) AD8=高性能AE減水剤(8000ℓ) AD9=高性能AE減水剤(4000ℓ)

コンピューター制御全自動ロードセル方式(光洋機械産業(株)製)

工程名	製造設備名	公称能力	台数	備考
練	二軸強制練ミキサ (容量 2.50 m ³)	180 m ³ /h 1440 m ³ /日	1	2.50 m ³ ×72 バッチ
	ミキサ自動洗浄装置	洗浄圧力 140 kg/cm ² 吸水量 26 ℓ/min	1	その他高圧洗浄装置 1台 5.5 kw
り	総合監視制御コンソール LIBRA α	1000×9種配合 液晶モニタ 24 ワイド	1	計量印字計 単位量換算ユニット
	過大過小粒補正装置	0 ~ 19.9 %	1	マトリックス方式
	容量変換装置	1.00 ~ 2.50 m ³	1	0.25 m ³ ステップ
混	ミキシングタイマー	0 ~ 999 秒	1	8種類×2パターン
	表面水補正装置(7種)	- 19.9 ~ + 19.9 %	1	0.1 %単位
	容積補償装置	0.1 %ステップ	1	100.0 ~ 105.9 %
ぜ	自動表面水測定装置	精度±0.3 %	3	高感度電磁波水分計
	スランプ管理システム HMM II	スランプモニタ	1	総合監視制御及び自動表面水装置と連動可能

付帯設備

製造設備名	公称能力	台数	備考
全自動洗浄付脱水機(公害防止設備)	6 m ³ /h	1	赤江機械工業(株)製
中和装置(公害防止設備)	6 m ³ /h PH 5.5~8.6	1	エレボン化工機(株)製
トラックスケール	最小 20kg 最大 50t	1	(株)田中衡機工業所製
自家用給油スタンド	30 Kℓ	1	TOKICO 製

3. 主要製造設備及び検査設備

主要検査設備

工程名	検査設備名	公称能力	台数	備考
秤類	電子天秤 (A&D製) 防塵・防水台はかり	秤量 31 kg 最小 0.1 g	1	0.1 g ~ 5 kg = 0.1 g 6 kg ~ 31 kg = 1 g
	電子台秤 (A&D製) 防塵・防水台はかり	秤量 60 kg 最小 10 g	1	10g ~ 60 kg = 10 g
骨材試験	単位容積質量マス	2 l, 10 l	各 1	
	電気定温乾燥器	0 °C ~ 200 °C	1	
	標準網ふるい	0.15 mm ~ 40 mm	一式	
	木枠網ふるい	5 mm ・ 10 mm ・ 20 mm	各 1	
	微粒分量試験	0.075 mm	一式	
	表乾砂用フローコーン	コーン・突き棒	一式	
	チャップマンフラスコ	細骨材表面水率測定用	2	
	揺動型ふるい振とう機	8 種	1	
コンクリート試験	試験練ミキサ (二軸強制型)	25 ~ 50 l KBHS-50R タイプ	1	光洋機械産業(株)製
	スランプ試験器具	突き棒・測定計・平板一式	3	
	スランプフロー試験器具		2	
	エアメーター	ワシントン型 (防水型)	4	
	前川製全自動耐圧試験機	最大荷重 2000 kN	1	高強度爆裂防止装置付
	供試体用型枠 (圧縮) φ 10×20 cm	空圧式 FB 押し抜き型枠	111	
	トリプルハイケンマ (供試体端面研磨機)	3 本同時研磨	1	(株)マルイ製
	単位水量測定器一式	高周波加熱乾燥法	1	200V 1900W
	塩分量測定計 カンタブ	標準品・低濃度品	各 1	
	恒温水循環養生水槽装置	6.00 m ³ 用 当工場水槽容量 5.25 m ³ T.P 最大収容本数 1440 本	1	自動温度調整式 (屋外設置型)

4. 製造工程中における品質管理の概要

区分	管理項目	ロット	判定基準		管理方法	
骨材	粗粒率 (細骨材)	1回/日以上及 変動を認めた時	3.00±0.15(粗砂) 質量比 65% ※① 2.00±0.15(細砂) 質量比 35%		細骨材の粗粒率検査表 (混合砂: 2.65±0.15)	
			3.00±0.15(粗砂) 質量比 75% ※② 1.50±0.25(山砂) 質量比 25%		細骨材の粗粒率検査表 (混合砂: 2.63±0.20)	
			3.00±0.15(粗砂) 質量比 70% ※③ 2.00±0.15(細砂) 質量比 30%		細骨材の粗粒率検査表 (混合砂: 2.70±0.15)	
			3.00±0.15(粗砂) 質量比 80% ※④ 1.50±0.25(山砂) 質量比 20%		細骨材の粗粒率検査表 (混合砂: 2.70±0.20)	
	実積率(粗骨材)	1回/週以上	60.0 ± 2 %		粗骨材実積率管理表	
	表面水率 (細骨材)	1回以上/午前 1回以上/午後 変動を認めた時	10 %以下		骨材の表面水記録表 及び製造日誌	
表面水率 (粗骨材)	必要の都度及び 変動を認めた時	0.5 ± 0.3 %				
コンクリート	普通 コン クリ ート	スランプ 目視検査	1回/午前 1回/午後 及び必要時 全バッチ	指定スランプ (cm)	許容範囲 (cm)	工程スランプ管理図 製造日誌
				8~18+ロス値	± 2.5	
				※ 21+ロス値	± 1.5	
				※ 呼び強度 27 以上で、高性能 AE 減水剤 を使用する場合は±2 cmとする。		
	空気量	1回/午前 1回/午後 及び必要時	コンクリートの種類	許容範囲 (%)	工程空気量管理図	
			普通	(4.5+0.5) ± 1.5		
	高 強 度 コ ン ク リ ート	スランプ 及び スランプフロー 目視検査	3回/日以上 全バッチ	指定スランプ 及び スランプフロー (cm)	許容範囲 (cm)	スランプ、スランプフロー及び空 気量のロス値は、気温 等により適正な値に定 める。 工程高強度スランプ管理図 工程スランプフロー管理図 工程高強度空気量管理図 製造日誌
				21・23+ロス値	± 2.0	
				50+ロス値	± 7.5	
				55・60+ロス値	± 10.0	
		空気量	出荷日 配合の種類毎 その日の1車目 及び必要時	コンクリートの種類	許容範囲 (%)	
				高強度	(3.0+ロス値) ± 1.5 (4.5+ロス値) ± 1.5	
圧縮強度	1回/日 高強度の場合は 出荷日(種類毎)	呼び強度の強度値以上		工程コンクリート強度管理図 工程コンクリート高強度管理図		
容積 容積検査 目視検査	1回/月 全バッチ	空気量のロス 0.5%を見込んで 実測積載容積で (1.000 ≤ 1.030) 容積目視棒以上(ホッパー内目印)		コンクリートの容積検査表 製造日誌		
塩化物含有量	1回/月	塩化物イオンとして 0.30 kg/m³以下		塩化物含有量検査表		
コンクリート温度	1回/午前 1回/午後	5℃~38℃以下		温度管理表		

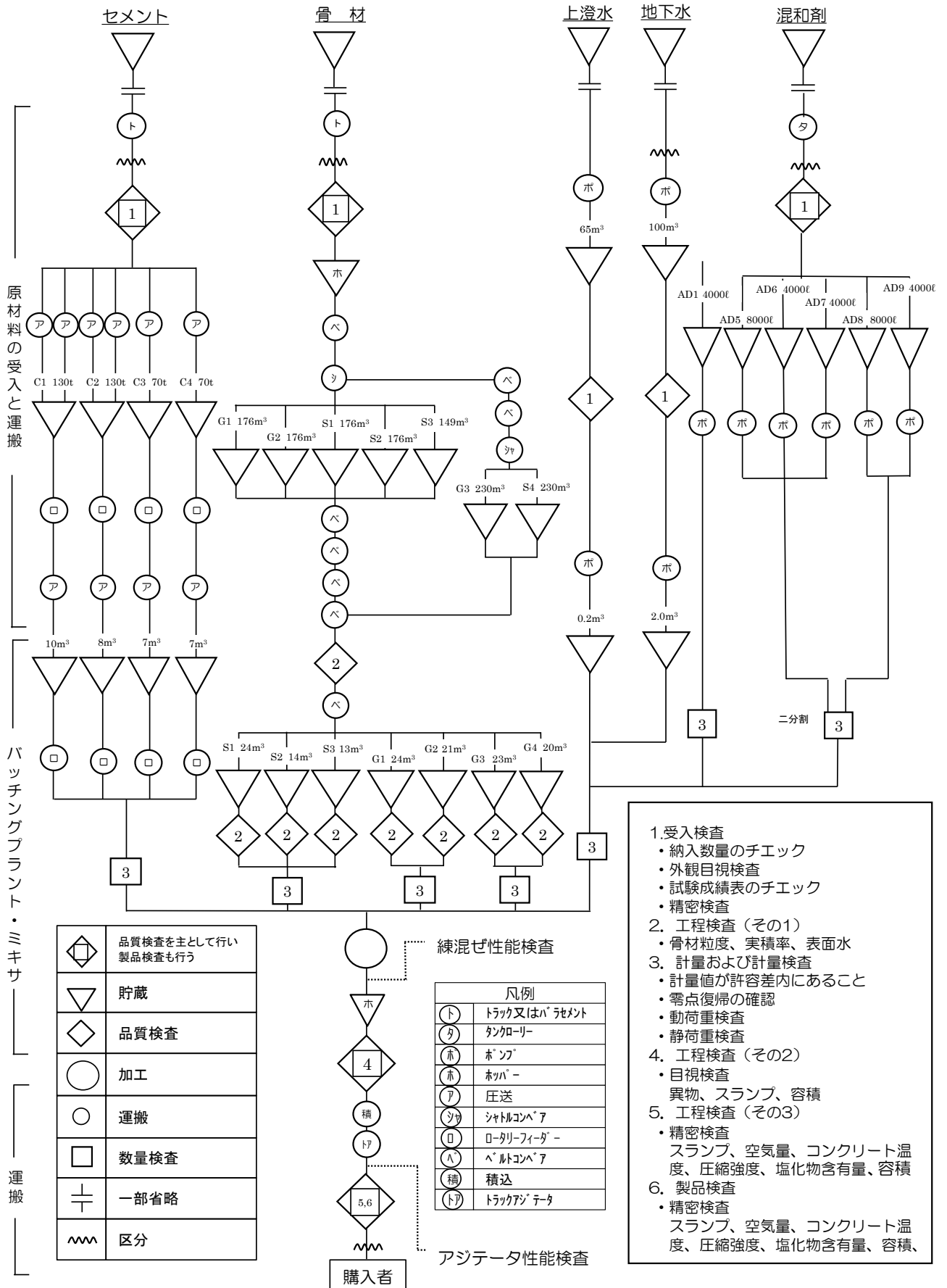
※ ① ② は普通コンクリート ③ ④ は高強度コンクリート

5. レディーミクストコンクリートの品質特性の概要

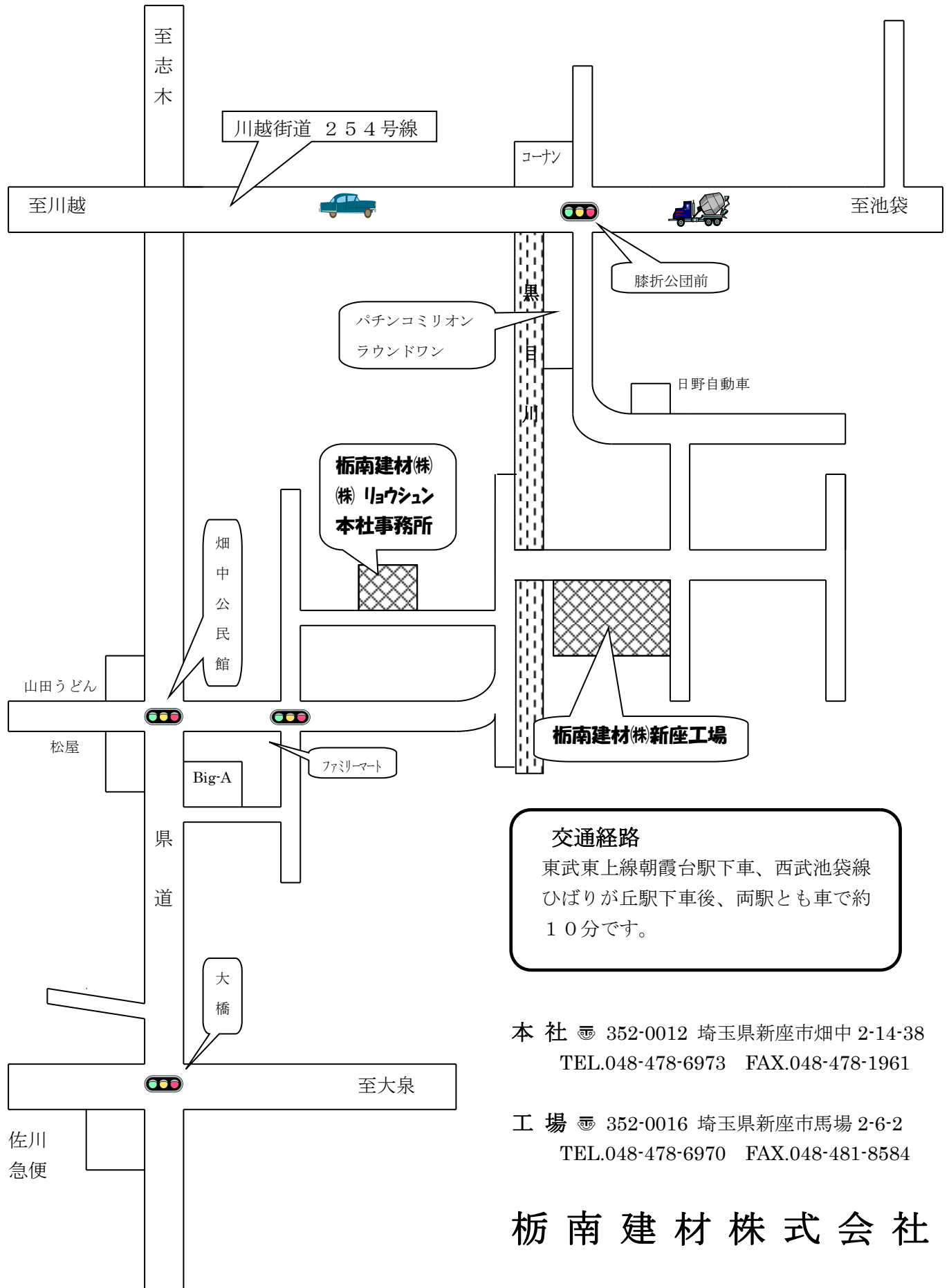
品質特性	ロット	品質特性	備考															
スランプ又は スランプフロー	供試体採取時	スランプは、購入者が指定した値に対してそれぞれ次の範囲内でなければならない。																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>スランプ及びスランプフロー (cm)</th> <th>許容差 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通</td> <td>8以上18以下</td> <td>± 2.5</td> </tr> <tr> <td>※ 21</td> <td>± 1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高強度</td> <td>21・23</td> <td>± 2.0</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>± 7.5</td> </tr> <tr> <td>55・60</td> <td>± 10.0</td> </tr> </tbody> </table>		コンクリートの種類	スランプ及びスランプフロー (cm)	許容差 (cm)	普通	8以上18以下	± 2.5	※ 21	± 1.5	高強度	21・23	± 2.0	50	± 7.5	55・60	± 10.0
		コンクリートの種類		スランプ及びスランプフロー (cm)	許容差 (cm)													
		普通		8以上18以下	± 2.5													
				※ 21	± 1.5													
		高強度		21・23	± 2.0													
50	± 7.5																	
55・60	± 10.0																	
※ 呼び強度 27 以上で、高性能 AE 減水剤を使用する場合は±2 cmとする。																		
空気量	供試体採取時	空気量は、購入者が指定した値に対してそれぞれ次の範囲内でなければならない。																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>許容差(%)</th> <th>目標値(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通</td> <td rowspan="2">± 1.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高強度</td> <td rowspan="2">± 1.5</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>		コンクリートの種類	許容差(%)	目標値(%)	普通	± 1.5	4.5	3.0	高強度	± 1.5	4.5					
		コンクリートの種類		許容差(%)	目標値(%)													
		普通		± 1.5	4.5													
3.0																		
高強度	± 1.5	4.5																
圧縮強度	<p>1回/150 m³を原則とし 450 m³を1ロットとする。</p> <p>高強度の場合は1回/100 m³以上を原則とし 300 m³を1ロットとする。</p>	<p>(1) 1回の試験結果は、購入者が指定した呼び強度の強度値の85%以上でなければならない。</p> <p>(2) 3回の試験結果の平均値は、購入者が指定した呼び強度の強度値以上でなければならない。</p>																
容積	動荷重検査実施時	容積は、荷卸し地点で納入書に記載した容積を下回ってはならない。																
塩化物含有量	顧客との協議による又は1回/月	0.30 kg/m ³ 以下																
コンクリート温度	供試体採取時	5℃～38℃以下																

6. 製造工程概要図

製造工程概要図



7. 工場位置図



交通経路
 東武東上線朝霞台駅下車、西武池袋線ひばりが丘駅下車後、両駅とも車で約10分です。

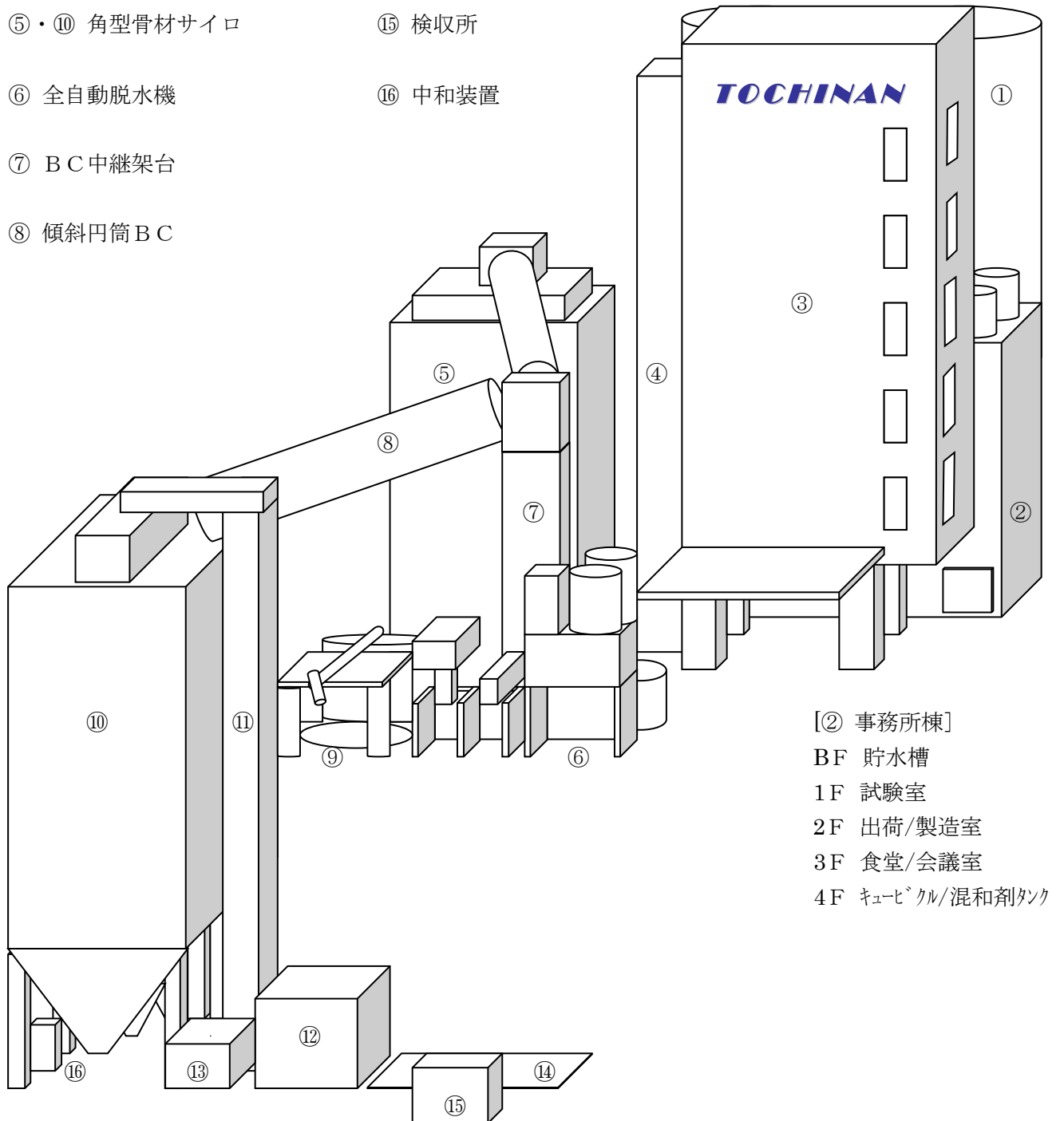
本社 ☎ 352-0012 埼玉県新座市畑中 2-14-38
 TEL.048-478-6973 FAX.048-478-1961

工場 ☎ 352-0016 埼玉県新座市馬場 2-6-2
 TEL.048-478-6970 FAX.048-481-8584

栃南建材株式会社

8. 工場配置図

- ① セメントサイロ
- ② 事務所棟（地下貯水槽）
- ③ バッチャープラント
- ④・⑪ 垂直フレックスBC
- ⑤・⑩ 角型骨材サイロ
- ⑥ 全自動脱水機
- ⑦ BC中継架台
- ⑧ 傾斜円筒BC
- ⑨ 洗車場（貯水槽）
- ⑫ 受入グランドホッパ
- ⑬ 化粧室
- ⑭ トラックスケール
- ⑮ 検収所
- ⑯ 中和装置



9. 有資格者名簿

役職名	氏名	資格名
代表取締役社長	青木 康至	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者 産業廃棄物中間処理施設技術管理者 水質関係第二種公害防止管理者 一般粉じん関係公害防止管理者 騒音・振動関係公害防止主任者 特殊無線技士（無線電話乙） 車両系建設機械運転免許 乙種第四類危険物取扱者 二級土木施工管理技士 コンクリート主任技士 品質管理責任者
工場長 兼技術課長	近藤 秀樹	一般粉じん関係公害防止管理者 コンクリート技士 品質管理責任者
技術係長	佐藤 亨	コンクリート技士 品質管理責任者
業務主任	青木 稜	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者 産業廃棄物中間処理施設技術管理士 一般コンクリート採取試験技能者 一般粉じん関係公害防止管理者 騒音・振動関係公害防止主任者 車両系建設機械運転免許 乙種第四類危険物取扱者 コンクリート主任技士 品質管理責任者
製造課長	及川 秀章	コンクリート技士
製造主任 技術主任	青木 駿	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者 産業廃棄物中間処理施設技術管理士 騒音・振動関係公害防止主任者 車両系建設機械運転免許 乙種第四類危険物取扱者 コンクリート技士 品質管理責任者
製造係	小辻 義夫	車両系建設機械運転免許
資材係	関根 隆行	車両系建設機械運転免許
運輸係	加藤 和弘	乙種第四類危険物取扱者 コンクリート技士 品質管理責任者

10.コンクリート技士登録証

jci

登録証
コンクリート主任技士

合格番号	00235580	登録番号	22100984
氏名	青木 康至	登録日	2021年4月1日
生年月日	1966年9月9日	有効期限	2025年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート主任技士として登録したことを証します。

公益社団法人 日本コンクリート工学会
会長 二羽 淳一郎

jci

登録証
コンクリート主任技士

合格番号	18235812	登録番号	22302114
氏名	青木 稜	登録日	2023年4月1日
生年月日	1993年2月7日	有効期限	2027年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート主任技士として登録したことを証します。

公益社団法人 日本コンクリート工学会
会長 西山 峰広

jci

登録証
コンクリート技士

合格番号	00134608	登録番号	12103398
氏名	近藤 秀樹	登録日	2021年4月1日
生年月日	1970年6月22日	有効期限	2025年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート技士として登録したことを証します。

公益社団法人 日本コンクリート工学会
会長 二羽 淳一郎

jci

登録証
コンクリート技士

合格番号	05130142	登録番号	12203619
氏名	佐藤 亨	登録日	2022年4月1日
生年月日	1974年8月2日	有効期限	2026年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート技士として登録したことを証します。

公益社団法人 日本コンクリート工学会
会長 二羽 淳一郎

jci

登録証
コンクリート技士

合格番号	08131127	登録番号	12105928
氏名	及川 秀章	登録日	2021年4月1日
生年月日	1979年6月9日	有効期限	2025年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート技士として登録したことを証します。

公益社団法人 日本コンクリート工学会
会長 二羽 淳一郎

jci

登録証
コンクリート技士

合格番号	18131154	登録番号	12308344
氏名	青木 駿	登録日	2023年4月1日
生年月日	1994年12月15日	有効期限	2027年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート技士として登録したことを証します。

公益社団法人 日本コンクリート工学会
会長 西山 峰広

10.コンクリート技士登録証



登 録 証
コンクリート技士

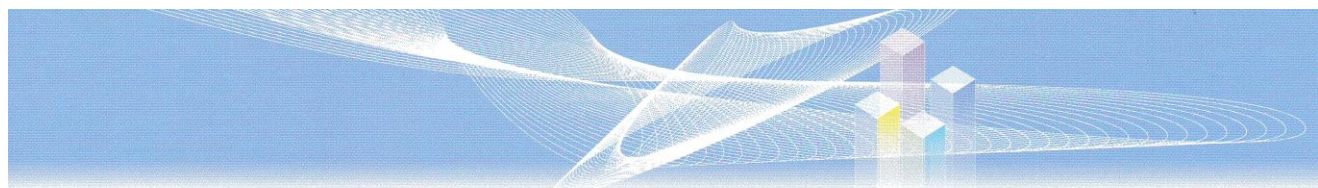
合格番号	16131333	登録番号	12109251
氏 名	加藤 和弘	登録日	2021年4月1日
生年月日	1965年3月12日	有効期限	2025年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート技士として登録したことを証します。

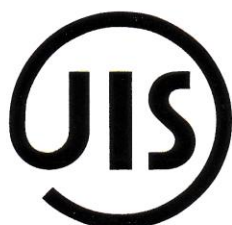
公益社団法人 日本コンクリート工学会
会長 二羽 淳一郎



1 1. 日本工業規格適合認証書



発効日：2022年1月29日



Certification for Japanese Industrial Standards

日本産業規格適合性認証書

栃南建材株式会社 殿

産業標準化法第30条第1項に基づき、下記のとおり
当該日本産業規格への適合を認証いたします。

記

認 証 番 号：TC0306086

認証取得者の氏名及び名称：栃南建材株式会社
住 所：埼玉県新座市畑中2丁目14番38号

鉱工業品の名称：レディーミクストコンクリート

認証に係るJIS番号：JIS A 5308

認 証 の 区 分：普通コンクリート

工場及び事業所の名称：栃南建材株式会社 新座工場
所 在 地：埼玉県新座市馬場2丁目6番2号

「認証の範囲」、「認証マーク等の表示」、「付記事項の表示」及び「表示の方法」については
日本産業規格適合性認証書附属書による。

認 証 契 約 日：2007年1月29日
有 効 期 限：2025年1月28日



一般財団法人 **建材試験センター**
Japan Testing Center for Construction Materials
東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番15号

理事長 **福水健文**



12. 高強度コンクリート国土交通大臣認定書



認 定 書

国住指第 2780 号
平成 24 年 12 月 11 日

栃南建材株式会社
専務取締役 青木 康至 様

国土交通大臣 羽田 雄一郎



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 37 条第二号の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
MCON-2836
2. 認定をした構造方法等の名称
高強度コンクリート
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

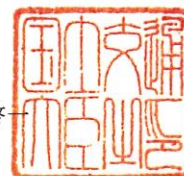
13. 高強度コンクリート国土交通大臣認定書

認 定 書

国住指第 4041 号
平成 31 年 4 月 11 日

栃南建材株式会社 新座工場
代表取締役 青木 康至 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 37 条第二号の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
MCON-4171
2. 認定をした構造方法等の名称
高強度コンクリート
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。